

再就労等に向けたスキルアップ講座等の実施 (女性活躍推進事業)【芦屋市】

総事業費	29 千円
交付金額	14 千円

地域の実情と課題

平成27年の国勢調査では、市内の30歳代以降の女性の労働力率が全国や県と比べ低い水準にあり、また市内の共働き世帯数が、夫が就業者で妻が非就業者の世帯数を上回り、今後も働くことを希望する女性はより増えることが見込まれる。平成28年実施の男女共同参画に関する市民意識調査では、現在未就労の30歳代から40歳代の女性の就労意向率が高くなっており、希望に応じた働き方が実現できることや、能力が十分に発揮できる環境の整備が課題であった。

事業の特徴

再就労や起業などに必要な知識の取得のため、ハローワーク西宮と共催で就労支援講座、また日本政策金融公庫と共催で起業準備講座を開催した。さらに再就労・就業・起業等に向けて、スキルアップのためのパソコン講座を開催するなど、女性が新たな一歩を踏み出すための支援を行った。

事業の効果

ハローワーク西宮や日本政策金融公庫と連携し、就労や起業に関する知識取得に向けた講座を開催したことにより、参加者には、最新の情報提供を行うことができたほか、就労・起業支援を行う中での具体的なお困りごとに対応した講義内容を提供できた。

目的・目標

再就労等を希望する女性受講者数30人以上と目標にしていたところ、受講者は35人（就労支援講座8人、起業準備講座5人+オンライン参加3人、PC講座19人）で目標を達成した。また、再就労等をした女性は、数名は希望がなかったと聞いており、1人以上という目標は達成した。

連携団体

ハローワーク西宮や日本政策金融公庫、フリーランスで活動されている女性パソコンインストラクターに講師を依頼し、スキルアップ等の講座を開催した。
また、兵庫県女性活躍センターや近隣各市の男女共同参画センター、ハローワーク西宮、女性活躍推進会議委員の所属先に、周知等を依頼した。

今後の課題

事業によっては、申し込みが少ないものもあるため、事業内容の精査が必要である。また、今回、起業準備講座ではオンラインを活用して実施したが、申込数が少なかったため、周知方法や周知期間を再考する必要がある。

事業の概要

市の他事業

- ・男女共同参画センター
- ・子育て施策 など



- ・相談 (再就労, 起業など)
- ・講座参加

- ・情報提供
- ・同行支援 など



- ・講座参加

- ・情報提供
- ・家事や育児などに関わる機会の増加

市の女性活躍推進事業 (業務委託)

ASHIYA RESUME

- ・講師依頼
- ・事業連携依頼

- ・講師派遣
- ・事業連携

市の女性活躍推進事業 (直営)

女性のための
ステップ相談
(女性活躍相談)

再就労等に向けた
スキルアップ講座等

- ・講師派遣依頼
- ・事業連携依頼

- ・講師派遣
- ・事業連携

男性向け講座

- ・事業評価

女性活躍推進会議

民間

芦屋市商工会
女性起業家
市内コワーキング
スペース など

国や県

ハローワーク西宮
日本政策金融公庫
兵庫県立男女共同
参画センター など

- ・会議への参画
- ・情報共有

※学識経験者, 団体代表
就業・起業支援者, 行政関係者